

### 着替え

- ・着替えは一人でする練習をしています。服の前後裏表を確認して着替える練習をしています。  
...一緒に更衣室に行つてね。
- ・前後裏表を確認してから着替えるように促してください。
- ・服もその場でたたむ練習をしています。
- ・脱いだ服はハンガーにかけることができます。ズボンもとめることができます。  
...ズボンからとめて、上着をかけるように促してください。
- ・靴の左右を確認してはく練習をしています。  
...間違っているときには「反対」と声をかけてください。

### トイレ

- ・トイレに行くように促す必要があります。トイレへは、絵カードを見せてから行きます。
- ・換気扇の音が嫌いです。  
...ついていたら消してください。
- ・大便のときは洋式トイレを使います。ふいたり流したりするのは、補助をしてください。
- ・水道で水遊びをすることがあります。注意してください！



### 休み時間

- ・プレイルームでは、ランジボールやトランポリンが大好きです。
- ・外では自転車で遊ぶことが多いです。ブランコ、ジャングルジムでも遊びます。  
...ブランコでは手を引いて押してほしいことを訴えてきます。そのときには押してください。

### 勉強の時間

- ・型はめ、線引きなどの練習をしています。
- ・ジョギングでは、走るときに棒を一本持ち、一周ごとに缶に入れていきます。  
棒がなくなったら終わりです。  
...棒を缶に入れるのを忘れていたら声をかけてね！



### 給食(準備)

- ・エプロンを着るときは、首の部分を持って補助してください。
- ・クラス全員分のおぼんを並べるのが、毎日の仕事です。

### 給食(食事)

- ・お代わりは、VOCA(シンボルを押すと音声が出る装置)の「ちょうだい」で伝えます。  
...いくつかの具体物から、選べるように見せてください。



- ・「いただきます」「ごちそうさまでした」も VOCA を使います！
  - ・お箸で食べます。つまんで食べるように促してください。
  - ・硬い野菜が嫌いです。無理に食べさせる必要はありません。
  - ・白ごはんはあまり好きではありません。  
...ふりかけなどをかけると食べられるよ。
- 

#### 給食(後片付け)

- ・おぼんを給食室へ返しに行くのが仕事です。  
...補助は必要ありません。
- 

#### 給食(はみがき)

- ・コップに入っている水を飲むことがあります。  
...目を離さないでね！！
  - ・ひと通り終わったら、仕上げの歯みがきをしてください。
- 

#### 掃除

- ・ぬらした新聞紙を細かくちぎって、それを集める練習をしています。  
...残っている場合には指差しで指示をしてください。
  - ・ごみ捨ては自分で行きます。
  - ・机の移動もお手本を見せるとそのとおりにしようとします。
-

## (資料10) S<sub>10</sub>のプロフィール

### 自己紹介

- ・名前 S<sub>10</sub>
- ・性別 男性
- ・学年 小学1年生
- ・利き手 右手

### 好きなあそびやもの

- ・砂時計 キレイな砂時計や水の入ったおもちゃをながめるのが好きだよ！
- ・パソコンや携帯電話や電卓などの、機器が大好き！
- ・パソコンでは、特に文字を打つことが好きなんだよ！
- ・嫌いな食べ物は、野菜だよ。



### コミュニケーションのとり方は...

- ・言葉でコミュニケーションをとっているよ。  
...「S<sub>10</sub>ちゃん」って先に声をかけてね。僕に話しかけていることを、先に伝えてから話してくれると分かりやすいな。  
...短い言葉で話してね！

### 気をつけてほしいことは...

- ・声かけをしすぎると、混乱してしまうよ。  
...次に何をするのかちゃんと分かっているときには、声かけをしすぎないように注意してね！

### パニックや困ったときは...

- ・パニックになると、激しく泣き出しちゃうよ。  
...「携帯で撮っちゃうぞ」と携帯電話のカメラで撮る真似をされると、泣くのをやめられる時もあるんだよ。

### 朝の支度

- ・朝、着替えが終わると自分で一日のスケジュールをスケジュールボードに作って、流れを確認してるんだ！  
...自分でしているよ、補助などはいりません。
- ・プリント配りを任されているよ！机の上に置いてある、クラス全員分のプリントを、個人のカゴに入れます。  
...忘れているときは声かけをしてね。終わったら、一人一枚ずつ配れているか確認してね。



.....

### 着替え

- ・自分で行って、一人で着替えることが出来るよ。  
...声かけ・補助はいりません。ついていく必要もありません。
- .....

### トイレ

- ・自分で行くよ。  
...声かけ・補助はいりません。ついていく必要もありません。
  - ・トイレから出てきたら、シャツが出ていないかだけを確認してね！  
...出ていたら、「シャツが出ているよ」と声かけをして教えてね。
- .....

### 休み時間

- ・遊ぶ場所を自分で選んで報告してから行くようにしているよ。  
...どこへ行くのか言い忘れているときは「大ちゃんどこ行くの？」などと聞いてね。教えるよ！
  - ・先生のお手伝いで、事務室にコピーに行っているよ。  
...手順カードを持って、一人で行っているよ。補助はいらないよ。
  - ・プレイルームではホワイトボードで迷路を書いて遊ぶのが好きです。  
...一緒に遊んでね！
  - ・プレイヤードでは、砂場で遊ぶのが好きです。
  - ・おいかけっこや自転車、サッカー、ボールあそびなども好きだよ。  
...自分からなかなか言えないから、誘ってね！
- .....



### 勉強の時間

- ・ジョギングでは、磁石を使って一周回ったことを確認しているよ。  
→磁石を貼るホワイトボードだよ。  
...一緒に走らなくてもいいよ。でも時々励ましの声をかけてくれるとうれしいな。
  - ・カードを使って足し算の練習をしています。式と答えのマッチングをしているんだよ。  
...途中で間違っても、最後まで訂正しないでね！
  - ・課題が出来たら「できました」と報告を聞いてから、正解か確認してください。  
...言うのを忘れている場合には、できたかどうか声かけて聞いてね。
- .....



### 給食(準備)

- ・手洗いやエプロンは自分で出来るよ。  
...声かけなどはいらないよ。
- ・2組にデザートを運ぶ仕事と、1組のみんなに牛乳を配る仕事をしているよ。  
...声かけなどはいらないよ。

.....

### 給食(食事)

- ・お箸を使って食べる練習をしているよ！
- ・野菜が嫌いなので、食べられないときには「減らしてください」と言う練習中です！  
でも減らしてほしいのに、言えない時があるよ。

...箸が進んでなかったら、「減らしますか」と聞いてみてね！

...「減らしてください」と言ったら、一口だけお皿に残して、減らすようにしてください。

- ・食べるのに時間がかかっている時は、タイマーを使うと食べることが出来るよ！

...「あと何分で食べようか」と一緒に相談して時間を決めてね！



.....

### 給食(後片付け)

- ・自分の食器を片付けて、洗って食器かごの中に片付けているよ。

...補助はいらないよ。

.....

### 給食(はみがき)

- ・はみがきカードを見ながら自分でしているよ。

...声かけ・補助はいらないよ。



.....

### 掃除

- ・1組の中にあるトイレの掃除を任されているよ！ホースで水をまいてモップで床をこするんだ。

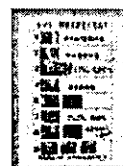


- ・そうじ用のエプロンをつけてしているよ。自分で着ることができるよ。

...「おねがいします」と言ったら、後ろのテープを留めてね。

- ・トイレの壁に貼ってある、掃除手順表を見ながらしているよ。

...見守っていてね。もし手順を間違えたら教えてね。



## (資料11) S<sub>11</sub>のプロフィール

---

### 自己紹介

- ・名前 S<sub>11</sub>
- ・性別 女性
- ・学年 小学校3年生
- ・利き手 左

### 好きなこと・物

- ・「アリエル」という人魚のキャラクターが大好きです。
- ・ものを集める事が好きです。決まったバッグに入れているよ！  
...でも、それを他の人に触られるのは好きじゃないよ。無理に触らないでね。



### コミュニケーションのとり方は

- ・発語はあります。でも、会話ではないときもあります。  
...一方的に話しすぎないようにしてね！
- ・いやな時は「やめてー」など拒否を意味する言葉を大きな声で言います。  
しかし、その時の表情は笑顔の時があります。  
...口調によく注意してね！
- ・VOCA(シンボルを押すと音声が出る装置)で言葉を練習している時があります。



### 気をつけて欲しいことは

- ・お気に入りの物や絵などを、勝手に触られるのは嫌いです。  
...身につけているものなども、無理に触らないで下さい。
- ・時間があると、教室を出ていくことがあります。  
...ちゃんと帰ってくるので、ついていく必要はありませんが、どこに行ったのか把握しておいてください。

### パニックや困ったときは

- ・大きな声で「やめてー」などの言葉を言います。それが続く場合や、泣き出した時には、担任の先生を呼んで下さい。

### 朝・帰りの支度

- ・音楽がなると、自分から教室に帰ってきます。声かけでも帰ってくるすることができます。
- ・過剰な声かけや、手をひくなどの補助はしないでください。

- ・事務室に、コピーに行く係りをしています。仕事は担任の先生に頼まれてから、行きます。
- ・ほぼ一人で出来ますが、紙がきちんとセットされているかどうか確認して下さい。

.....

#### 着替え

- ・着替えは一人ですることが出来ます。声かけ、補助は必要ありません。ついていく必要もありません。

.....

#### トイレ

- ・一人で出来ます。『やまもの家』のトイレを使っています。声かけ、補助は必要ありません。ついて行く必要もありません。

.....

#### 休み時間

- ・プレイルームでは、ラージボールやトランポリンが大好きです。
- ・教室では、ホワイトボードに絵を書いたり、お気に入りのアリエルのおもちゃで遊んだりします。
- ・プレイヤードでは、自転車やブランコで遊びます。追いかけることを好みます。追いかけてみて、一緒に遊んでね！

...ブランコは、自分でこぐことが出来ますが押してもらう方が好きです。  
あそぶときは押してくださいね！



.....

#### 勉強の時間

- ・ジョギングでは周回カードで周回を確認しながら走っています。カードを、一週ごとに箱の中に入れて、なくなったら終わりです。
- ・箱は、いつもみんなと離れた場所に置いています。
- ・名前を書く練習をしています。また、ひらがなを書く練習をしています。  
...この時、鉛筆の持ち方などが悪くてもあまり注意しないで下さい。本人の興味や関心が薄れてしまいます。



.....

#### 給食(準備)

- ・エプロンを着るなどの準備は自分で出来ます。声かけ、補助は必要ありません。
- ・クラス全員分の牛乳を配る係りをしています。一人で出来ます。

.....

#### 給食(食事)

- ・好き嫌いは多いですが、無理矢理食べさせるような声かけはしないで下さい。
- ・お箸で食べます。
- ・お代わりのときは言葉で言います。何が欲しいのか、具体物を見せながら聞いてください。



#### 給食(後片付け)

- ・食べるのが早く、食べ終わると自分のタイミングで、ごちそうさまをしています。
- ・自分の食器は自分で洗ってから、かごの中に入れます。  
...補助は必要ありません。

---

#### 給食(はみがき)

- ・自分で歯ブラシやコップを持ってきて出来ます。ハミガキカードを見ながらしているよ。  
...一通り終わったら、「おねがいします」と教えるので、仕上げみがきをしてね。



---

#### 掃除

- ・女子更衣室の掃除を任されています。
- ・掃除機を自分でかけることができます。  
...補助は必要ありません。
- ・廊下のぞうきんがけをしています。一往復します。  
...準備なども自分でします。見守ってね。
- ・ごみ捨てに行き掃除が終わります。  
...ついていかず、一人で行くのを見守っていてね。





(資料12) 情報に対する感想(e-ppシステムを利用した被験者)

S <sub>1</sub>	・情報は役立った。
	・知りたかった情報があった。
	・細かい援助方法が分からず困った。
	・担任の先生は、(こちらからの声かけはあまり必要ないという情報だったが)うながしの声かけをしているのを見て、自分では適当な判断は難しいと感じた。
	・いつもの習慣やいつもしている声かけをもっと具体的に知りたかった。(「声かけしてください」の情報だけではなく「〇〇しよう」と言っています という情報が欲しかった)
	・以前の情報と比べて、書かれている情報の内容が少し違っているように感じた。(例えば、食事の後片付けの様子については全員書いてほしい)
	・こちらからの声かけはあまり必要ないという情報だったので、食べて片付けるのに時間がかかっていたが、声かけしすぎないようにした。
	・(画像が役立った部分は?)「歌が好き」という部分。体を回しているアニメーションがあって、すごくイメージしやすかったし、実際にしているのを見てもすぐに分かってよかった。
	・コミュニケーションの中で、子どもが何を言いたいのか分からないという事は何度かあったが、情報には書けないような、状況に応じたことなので困った。
	・給食の後片付けについて、自分のおぼんと、クラスの食器があるのではないかと(過去の子どもを見ていて)思って、情報がなかったので困った。
	・さんにどれだけの声かけをしてもいいのかわからなかった。
	・ご飯を食べるときの補助の仕方があるとやりやすい。例えば、フォークを使っているときはどうしたらいいのかわからなかった。
	・はみがきの場面で、情報が足りなかったように思う。自分で持ってくるのか、補助が必要なのか分からなくて困った。
	・情報の量はちょうどよいと思うが、子どもによって量に差があったので、(4回目は特に)もつなくていいのかなと少し不安になった。
	・(画像で印象に残っているもの) トイレのシンボル ←支援に必要だと思ったから。
・(画像で印象に残っているもの) VOCAの全体像 ←いろんなタイプがあるので、覚えておこうと思った。	
・エプロンのたたみ方は、アニメーションだったので印象に残っている。	
・はみがきの場面で印象に残っている。	
S <sub>2</sub>	・あらかじめ、その子の情報を見ておけることで、最低限(その子が嫌がることをしないなど)の対応はできた。
	・情報にただ頼るだけでなく、子どもの様子を見て、その場で適した対応が出来たらよかった。
	・情報の細々としたことで足りない部分は、接しながら見つけていくしかないと思う。
	・気をつけなければならないことは分かっているが、どう気をつけて対応すればよいか難しかった。気をつける事が分かっているだけましかとも思う。
	・構いすぎるとダメだと書いてあったので、あまり刺激しないようにと考えていたら、結果的に構わなくなってしまう。
	・今回の情報量は丁度よく、分かりやすくてよかった。
	・情報はとても分かりやすかった。
	・プランコの動いている画像があったので、力加減が想像できやすかった。
	・「おねがいします」という言葉を引き出さなければいけないんだろうという、先生の意図が分かる場面や、練習中の場面は分かったが、それを短期的に関わるボランティアに求めるのは難しいと思う。やりにくいと感じた。
	・情報は分かっているけど、それを徹底するべきなのか判断に困る場面が多かった。(時間に迫られているときの声かけや、「できる」とあっても少し難しそうとき)
	・近づかない、必要ないと書かれていても、距離感が難しかった。
	・さんのところへ行き、執拗に触ることが多かったことに対して、どの程度のとめ方をしたらよいか分からなかった。手だけを止めたならよいか、行くことを止めるべきか、分からず不安だった。
	・嫌いなおかずに手を付けない、という情報に対して、どういう声かけをしたら有効か分からなくて困った。
	・「トイレは一人でできます」と書いてあったが、声かけは必要なのか?具体的に知りたかった。
	・嫌いなおかずをすすめる時、一緒に遊びたい時など、普段先生がしている具体的な声かけや支援方法についての情報があると、もっと積極的に関わる事が出来たと思う。
・昼休み、「おいかけっこ」が好きとあるが、どういうやり方(ルールや声かけなど)でしているか、という情報が欲しかった。	

	<ul style="list-style-type: none"> <li>全般を通して、「声かけが必要」という情報だけでなく、普段している決まった言い方や「いつもの」決まりがあれば具体的に「このように言っている」ことを書いていて欲しかった。</li> <li>・(画像で印象に残っているもの)ラージボール</li> <li>・(画像で印象に残っているもの)VOCA(はみがきの時に使うもの) ← 初めて見るものだったから。</li> <li>・(画像で印象に残っているもの)顔写真 ← 「左目が見えません」という情報と照らし合わせて見ていたから。情報が印象に残っている。(「だから左目のほうが小さいのか」と。</li> <li>・(画像で印象に残っているもの)食べている様子の写真 ← 自分に関係のある写真だと思って見ていたから。</li> <li>・(画像で印象に残っているもの)タイマー、ミニボイスメッセージ ← コミュニケーションに大切だと思ったので、覚えておこうと思った。</li> <li>・(画像で印象に残っているもの)箸蔵くん ← 初めて見たから。</li> </ul>
S <sub>3</sub>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「補助はいらないよ」と書かれていると、安心感は大い。</li> <li>・遊ぶ時、「歌う」などのキーワードがあることはよいが、具体的な情報がほしかった。</li> <li>・声かけ以外の有効な対応法について知りたかった。</li> <li>・あそび「おいかげあそび」にしても、どうするのか書かれていたらよかった。</li> <li>・具体的にその子と遊べるものについて知りたかった。(どうやって南くんと遊びに入っていくかなど)</li> <li>・子どもの顔がわかると安心。</li> <li>・「行き先を伝えていく」「会話できる」「名前を呼んでから話しかける」といった情報があったので、コミュニケーションがとりやすかった。</li> <li>・項目が時間軸なのがよかった。次にする活動を見る事ができたので、後追いにならず先に見る事ができたから。</li> <li>・パニックになった時の様子も安心感につながったが、パニックにならないために気をつけること(否定語を言わない)が分かっていた事が、かなり安心感につながった。</li> <li>・誰かとあそぶときの様子の画像が欲しかった。(ひとりであそぶものは文章だけでよい。二人で遊ぶ時の情報が必要だと思う。</li> <li>・画像が役立ったものは特になかった。参考にしたものも特になかった。印象には残る(先生ごっこの動画)が、役に立ったという実感はない。</li> <li>・VOCAを押すことを促すときの言い方が、情報になかったので何と言っていれば分からず困った。</li> <li>・給食の場面で、声かけするという情報どおりにしたらうまくいかなかった。声かけよりも、食器を渡すほうが有効だったと思う。</li> <li>・先生がいつも言っている言い方の例がほしかった。(声かけてね、だけでなく、どのように声かけするという具体的な例がもっとたくさんほしかった。</li> <li>・たかくんがいつもしていることやこだわり、習慣などの情報をもっと知っておきたかった。</li> <li>・野菜が嫌いという情報は知っていたが、具体的にあればもっとわかりやすい。</li> <li>・(印象に残っている画像)VOCA ← たくさん置いてあるので、どれが岩田君のものかが分かった。</li> <li>・「好きな遊びやもの」の中で、歌が好きとあるがどんな歌が好きなのか、といったもっと具体的な情報が欲しかった。</li> <li>・具体的な情報だと、新しい情報ではなくなるかもしれないが、そのことを書いていけば問題ないと思う。</li> </ul>
S <sub>4</sub>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報は的確で、今までで一番関わる事が出来た。。</li> <li>・今までボランティアをする上で、関わっている途中で何をしたらよいか分からなくなった時、情報を見直すという事はしたことがなかったので、情報を見るタイミングが難しかった。</li> <li>・情報を参考とした対応が瞬時に出来ず、とても後悔している。</li> <li>・給食場面において、声かけで促す工夫が必要だと知り、言い方にも気をつけてやるべきだと思った。</li> <li>・休み時間の先生遊びの画像が役に立った。文章だけだとどんな遊びなのか想像できないが、動いている画像があつてよかった。</li> <li>・(e-pp)食事のときの「いる」「減らして」などカードの画像があつたのでどれを使うのが分かりやすかった。</li> <li>・歯磨きのとき、歯磨きカードの画像があつて、使うものが分かり安心した。</li> <li>・情報に、食器を誰かと一緒に持っていきと書いてあつたので、先の行動を読むことができて、先生にも声かけができた。</li> <li>・情報の内容は分かりやすかったと思う。項目が前回と同じだったので、分かっていたから見やすかった。</li> <li>・前回よりも少なく感じたが、それが逆に覚えやすい量になっていたように感じた。</li> <li>・「箸蔵くん」の画像が印象に残っている。祖母が使っていたから、使うことに驚いたから。</li> <li>・はみがきのときの、普段の支援の様子の画像が欲しかった。</li> <li>・給食の場面において、お代わりなどタイミングを見るのが難しかった。</li> </ul>

<報告3> 自閉症や知的障害のある子どもへの e-pp システム導入実験

・ 昼休みに、うまく一緒に遊べるように誘えなかったと思う。誘うという情報は分かっていたが、やはり初対面だとタイミングや言い方が難しいと感じた。

・ 給食後片付けの場面で、給食室に食器を返しに行くとき、情報では「ついていなくていい」とあったのに、先生から「ついていってください」と言われて、混乱した。どちらの指示に沿ったらいいのか、迷った。

・ 歯磨き前に、VOCAに自分の声を入れることが分からなかったため、どこまでVOCAを利用しているのか知りたかった。

・ 食事のときに使っているカード(かむことを促すもの)についての情報がほしかった。

・ はみがきのとき、強い力で嫌がったので、普段の先生がしている様子が知りたかった。

・ (画像で印象に残っているもの)「あつれ～」のカード ←おもしろかったから。

・ (画像で印象に残っているもの)「紙コップのおもちゃ」「プーさんの人形」「トイレカード」「姿勢」

(資料12) 情報に対する感想(紙を利用した被験者)

S <sub>5</sub>	・短い言葉で話しかけると、コミュニケーションがとれたのでよかった。
	・(画像が欲しかったもの)タイマーの写真
	・特に注意すべき項目などは、違う色や下線などで示してもらえると、よりわかりやすい。
	・「声かけ、補助はいらないよ」という情報でかなり安心できた。
	・困ったこととして、ご飯の食べさせ方が分からなかった。「パクッ」と言うタイミングなど難しかった。
	・VOCAを使って給食の量を減らすという支援は情報通りにできたが、押し続ける岩田君にどう対応しているのか分からなかった。
	・食器について、情報には「洗って片付ける」と書いてあったが、実際には食器を洗っていなかったため、動揺した。
	・支援する側がパニックやコミュニケーション時に、どうすればうまく関わられるかという情報が欲しかった。
	・子どもの情報だけではなく、支援者の関わる方法(子どもにとって安心できる存在になる)という情報が欲しかった。
	・デザートの情報について、献立によって日々違うので、デザートがある日かない日かを事前に知りたい。
	・タイマーについて、ある場所、使い方などが知りたかった。もう少し詳しく情報が欲しかった。
	・「パニックのとき」の様子よりも、対処法がもっと欲しかった。
	・「コミュニケーションのとり方」gくんからの発信は載っていたが、こちらかたの発信のしかたが欲しかった。
	・その日の体調や機嫌などを事前に知っておきたかった。
	・給食後片付けについて(食器洗いについて)の情報が、実際と違って、先生に聞いたとき混乱した。
・食事場面で、情報と違うタイマーを使っていたので、混乱した。	
・給食については、その日のメニューが係りの仕事などに影響してくるので、メニューなどのその日その日で変わることについての情報が欲しかった。	
・情報と、実際が違うことがあったので、そこが改善されるといいと思う。	
S <sub>6</sub>	・(情報の量について) ちょうどよいと思う。必要なことは書いてあると思う。
	・今回は、最初から必要と思う項目しか見なかった。前回の経験から、「勉強の時間」や「掃除」は見なくても大丈夫だと思ったので。
	・おぼんを返しに行くとき、手をつないでくるがつかないではダメと書かれてあって、でも拒否できなかったとき。
	・歯磨きのとき、コップの水を飲んだことに気付かなかった。
	・情報を見て「何もなくてよい」と全体に書いてあったので、話すきっかけをなくしてしまった。
	・勝手に話しかけたり、無理にやらせたりなどしないとも書いてあって、何もできなくなってしまった。
	・支援者の言うことに対して反応してくれないので困った。 例)給食のとき「つまんで食べるように」という支援に対して、i君は最後までつまんで食べてくれなかったこと。
	・情報どおりにしたが、うまくできなかった。 例)おぼん返しに行くとき、「10mくらい離れてついていく」という支援に対して、松尾君が支援者が歩かないと歩いてくれなくなった。
	・靴のかかとのことも気づかなかった。→紙の情報で注意しなければいい事象に気づかなかった。
	・紙に書いていた情報でどうしたらいいのか分からなかった。 例)歯磨き中、水をのませないように」と書いていたが、結局飲んでしまった。
	・食事をすすめるとき、先生だと食べて支援者だと食べなかった。同じ「どうぞ」という支援方法でも、ちょっとした工夫が必要だと感じた。
	・(情報の内容について) 前回、吉川さんだったので「声かけしすぎではいけない」という情報が大切だったので、そのようなことはないのかと、不安を感じた。
・情報は、事前に渡されたときに覚えていたので、その後は読む必要はなかった。	
	・「近からず遠からず」の表現は、あいまいなだけけど、支援者の顔は見えてもいいが近くには寄らないという距離感が想像できてよかった。
	・「補助はいらない」「声かけて」という情報があって安心感が増した。どの場面で支援が不要で、必要なかが明確に分かったので、支援しやすかった。
	・遊び方についての情報がもっとほしかった。
	・「だめという否定語を言わないように」という情報は、印象に残っている。禁止事項なので、守らないといけないという意識があったから。
	・情報量は多かったため、とても参考になった。もう少し詳しくあればいいところもあった。 例)「ごま塩」をどこにどう振っていいのか分からなくて困った。

S <sub>7</sub>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「ひもを振るのが大好きです」とあっても、それはしてもいい遊びなのかいけない遊びなのかわからない。</li> <li>↑【好きな遊び】の項目にあるが…と質問すると、それでもわからない。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トイレで、情報には声かけで行けるとあったが、いつ声かけをすればよいか分からず、困った。</li> <li>・「フォークやスプーンで食べます」と書いていても、どっちでどんなときに食べればよいかわからない。</li> <li>・「促す」方法がわからなかった</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昼休みに、外から帰ってきて、「トイレカード」を取るという情報は見ていたが、時間がたっていたので忘れていた。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「心臓に欠陥があるので…」という情報について、どの程度の運動は出来るとどの程度は出来ないのか、具体的に分からず、困った。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・給食について、普段指導していることが分からなかったなので、注意すべきこととしなくてよいことを明確にした情報が欲しかった。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昼休み、一緒に遊ぶにはどうしたらよいかの情報がほしかった。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全般について、普段大木くんがどのように過ごしているのか、大人とどのように関わっているのかについての情報が、もっと欲しかった。支援者が「どう支援したらよいか」が少なかったのでは？</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふだんの様子についてよく知っている人でないと、この情報は作れないと思う。でも、初対面の利用者にとって、分かりにくい表現になっていたり、(作成者の)「書かなくてもわかるだろう」という情報が、実際は必要だったりするのではないかと思う。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フォークをどうやって握っているか分からない。←画像が欲しかった。</li> <li>・普段やっていること(役割や活動のスケジュールなど)が情報に欲しい</li> <li>・VOCAの情報が分かりにくい。画像も見えにくい。</li> <li>・具体的な声かけの方法が情報として欲しい。</li> <li>・欲しい情報がない。</li> <li>・決まりごと(例えば学校のスケジュールなど)があるのなら、それを書いて欲しい。</li> <li>・どういう声かけが必要なのか、書いて欲しい。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昼休みの場面で、情報の内容の意味が分からずに、混乱した。(10分は外で遊んでいて、10分たったら中に入ってきて、トイレへ行った後、教室であそぶという情報)</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(画像がほしかったもの)物の場所や、持ち物の写真 ←どこから持ってきて、どこに直すのか分からないと不安だから。</li> <li>・情報があってもそれをどう使うかが分からないし、知りたいことが書いていなかった。</li> <li>・文章だけではどういう意味なのか分からなかったが、先生に理由を聞いてやっと理解できた。 例)パソコンが好きで運動不足だからなるべく外で遊ばせたい。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「給食をかきこんで食べる」というのは、もっと一気にいくかと思っていたが、特にそうでもなかった。</li> <li>・場面ごとになっているので、どこをみたら欲しい情報が載っているか、見つけやすい。</li> <li>・「もぐもぐ」と言っても、かきこんで食べないようにするなどの情報は役にたった。</li> <li>・「箸蔵君を使う」という情報があることで、箸を使って食べるという情報が伝わったので安心した。</li> <li>・ほとんど給食も一人で食べていたので、安心だった。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「カードをみながら…」という情報は、カードを使うことは分かっていたが、fさんが持ってくるのを忘れていて、どんなカードが分からずどうしたらいいか困ってしまった。</li> <li>・カードを使うとあるが、hさん自身が持っているものなのか、教室内に置いてあるのかわからなかった。</li> <li>・全部覚えたつもりでいたが、「背中をさすって姿勢を正す」「歯ブラシを持って最初は支援する」など支援方法を忘れていたのもあった。</li> <li>・「声かけ・補助はいらない」の情報に対して、出来るだけ言わないようにしようと思っていたが、動作がゆっくり過ぎて時間がかかっているときに、言うべきか言わないべきか判断に困った。</li> <li>・休み時間に、一緒に遊ぶにはどうやって遊ばよいか情報がなかったので、困った。</li> <li>・「先生ごっこ」が好きなのは、情報から知っていたが、いつもどうやって「先生ごっこ」をしているか分からなかったので、誘えずに困った。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・はみがきのとき「見本を見せる」という支援は情報から分かっていたが、どのように見本を見せたらよいか分からなかった。</li> <li>・「声かけ・補助はいりません」と情報に書かれている場面では、声かけしてはいけないような気持ちだったので、「声かけが必要な」と思っても、ブレーキがかかっていた。(給食片付け場面)</li> <li>・書かれている情報と、先生に言われる情報が違うとき、少し混乱してしまう。どちらの指示に従えばいいのかわからないから。</li> <li>・遊びの場面の「誘われると…」の誘い方がよく分からなかった。</li> </ul>	
	S <sub>8</sub>	

<報告3> 自閉症や知的障害のある子どもへの e-pp システム導入実験

・「オーバーにほめる」といっても、どれくらいほめればいいのか分からなかった。
・声かけしなくていいとのことだったので、支援者から遊びを誘うのはしてもいいものなのか分からなかった。
・当番(給食)や役割の情報があれば嬉しい。役割などが特にならない場合は、なしという情報もほしい。
・『プレイヤー』『プレイルーム』『PDA』とは、どんな意味?どんなもの?
・休み時間の一緒に遊ぶ遊び方の情報をもっと欲しかった。
・(画像が欲しかった情報は)「パネルシアター」の意味が分からなかったので、パネルシアターの画像
・頸椎がズれるとはどういうことか分からなかった。
・「カセット並び」の意味がよく分からなかった。
・好きなものはよく分かるが、それを実際にどうすればいいのか分からない。場面が想像できない。

(資料13) その他の感想(e-ppシステムを利用した被験者)

S <sub>1</sub>	・休み時間に元気に遊ぶ事ができ、笑顔がたくさん見られたので、安心できた。
	・VOCAの「ごちそうさまでした」を途中で押していて、使い切れていないのかと思って、どうしたらよいか分からず混乱した。
	・給食片付け中に、機嫌が悪くなり、どうしてよいか分からなかった。
	・ごま塩やコーンフレークばかり欲しがるのがあけてよいか分からないかった。
	・給食(おかず)をほとんど食べないことが不安だった。
	・担任の先生に聞くことで、対応できた。
	・短時間であるが、楽しかった。
	・短時間であるが、勉強になった。
	・事前に目を通していたので、困り果てることはなかった。
	・有意義な時間が過ごせた。
	・初対面だったので、すこし不安の気持ちを持って給食の時間を迎えた。
	・担任の先生の手を借りる事が多かったので、不安の気持ちが増した。
	・初めてのことばかりで不安だった。
	・自分なりにe-ppの情報を参考に介護した。
	・困ったことは、先生に聞きすぎてもいいのか、分からなかった。
	・先生に(手首をつかむ行為を)指摘されて、適切な対応ができていなかったと思い、失敗したと感じた。
	・介護をしながらその状況に応じて知りたいこと(細かいこと)が出てきて、その度に何人もの先生に聞かなければならなかった。
	・声かけなどをし過ぎて、もしかしたら子ども自身のペースを崩してしまったのではないかと、という心配があった。
	・休み時間、パソコンで遊んでいるときは、何をしたらよいか分からなかった。
	(4回終了して、今後e-PPシステムがあれば、利用するか?) どちらでもよい。 事前に(サポートに来る前に)見れるのであれば、ぜひこのシステムを使いたいと思うが、当日見るのであれば、紙でもよいと思う。 また情報量を増やすのであれば、このシステムの方を使いたい、今のこのくらいの情報量ならば、紙でも支障はなさそう。 画像があることでイメージしやすくなる点が良いが、今の量の画像なら、紙でも補えると思った。
・休み時間がなく、着替えにはいったので、一緒に入るべきが悩んだ。	
・準備のとき、係りの仕事はないのか不安だった。(他の人はしているのに…)	
・あったらよかったと思う画像は、特になし。文字だけでも十分伝わった。	
・特に困ったことはなかった。	
・最初は一通り全部見たが、そのときに 頭の中にインプットしたものは、関係ある項目だけだった。(プロフィールの部分、トイレ、給食、休み時間) それ以外は、流し読みしただけで記憶には残っていない。	
S <sub>2</sub>	・最低限の情報を持って接する事が出来たので、最低限の対応はできたと思う。
	・本当に最低限の対応しかできなかつたので、きつともっと出来るのだろうと思う。
	・準備のときなどに、みやびさんが教室からいなくなったとき、どうしたらよいか分からなかった。
	・全体を通して、緑さんの意思を読み取れなかった。そのために対応が分からなかった。
	・昼休みに、特定の先生との追いかけてこがすきな事が分かったので、どう関わったらよいか分からずに困った。
	・コミュニケーションをどうやってとつたらよいか分からなかった。
	・昼休み、一人あそびになったり、他の先生にしかが要求が出なかつたので、どう関わったらよいか分からず困った。
	・はじめ(給食の準備中)、後ろに立っていたのが嫌だったのかもしれない。
	・トイレの支援をする前は、よく分かるようだと思っていたが、いざやってみると分からなかった。 給食の時「三角食べ」について、指示されて困った。 気づいていたが、しなくてもよい(必要ない)と思ったので、直後に1回声かけしただけでそれ以外は意図的にしな
	・ひるやすみに「おかしやさん」についての情報がなかつたので分からず、少し混乱した。
・困る前に、先生のほうから直接指示があつたので、すごく困ったことはなかつた。	
・あまりに危険なことをしていたら止められると思って、先生にあまり聞けなかつた。	
・e-ppに書かれている内容は覚えていたから、途中、携帯電話を見なかつた。	
S <sub>3</sub>	・初対面の場合、積極的に支援するということはないと思う。方法も知らないし、自信もないから。
	・給食の時の促しの仕方について、声かけと動作で示すと有効のように感じた。
	・具体的な情報がなかつたからといって、困ったわけではない。
	・最初に見る時間があることは、有効的だったと思う。どこにどんな情報があるかをしておけるから。 ・最初に通り全部見て、後は必要に応じて、活動中の次の活動の項目を見るようにした。

<報告3> 自閉症や知的障害のある子どもへの e-pp システム導入実験

S <sub>4</sub>	・井上さんは、比較的ほほ自立しているので、少しの声かけで出来たと思う。
	・関わる上で困ったことはなかった。
	・比較的補助がいらなかったのが、支援するほうとしてもよかった。
	・声かけのタイミングが難しく、次の活動・動作に行くことが難しかった。
	・瞬時に行動に移せなかった。
	・何度も使っていく上で、e-ppのよさがさらに出てくるように感じた。
	・普段と違う環境にすぐ適応できないので、もっと時間があればe-ppを使う回数も増えて、どこで見たらよいかわかってくると思う。
	・e-ppがどのようなものか少し分かったので、リラックスして取り組む事が出来た。
	・e-ppがあることで、落ち着いて子どもさんの情報を見られた。
	・e-ppがあることで、安心できたのでよかった。
	・基本的なこと(給食の場面で、茶碗を持って食べるということ)に気づいていなかった。
	・歌が好きで踊ったり、歌ったりと一緒に関わって楽しかった。関わった感じがある。
	・スローペースなので、どういう風に声かけすればいいのか困った。自分でできるのか？とまっているのか？
	・ほとんど自立していたので、声かけで出来たと思う。特に困ったことはない。
	・食事のとき、「手で食べる」「茶碗を持つ」と言ったことを先生から指示されたことに対して、「基本的なマナー」について、忘れていた。情報の内容(食べにくいものはスプーンを渡す)だけに、自分の注意がいていたからだと思う。
	・VOCAをいろいろな場面で使っていたが、うまく促したりする支援が出来なかったと思う。



(資料13) その他の感想(紙を利用した被験者)

S <sub>5</sub>	・給食を食べなくなったとき、どうしたらいいかわからない。
	・つばをはくこと。物につばをつけているのは、止め方が分からずに困った。
	・もしパニックを起こしていたら・・・、コミュニケーションは・・・など、どう対応したらいいか分からなかった。
	・何でも口に持っていくこと。どうやってとめたらよいか分からなかった。そういう癖があるなら、初めから情報に入っているとよかったと思う。
	・事前に紙にて情報を得ていたが、実際に関わってみると、紙にない情報の出来事に直面する。そうなると、動揺した。 例)岩田君が一つのもの(パン)以外食べなかったこと。
	・子どもの意図がわかると支援者も接しやすい。
	・支援者が言っていることが分かるので、とても動きやすかった。
	・給食で嫌いなものがあったも、最後まで食べようとする姿勢に心打たれた。
	・支援のやり方、タイミングが違うだけで、先生がするようにはできなかった。 例)「おわんを差し出すと食べられる。」という方法にしても、先生がすると食べるのに、支援者がすると手でさえぎられる。またb君が別のもを見ているときに差し出してしまふ。
	・先生と支援者と比べると、経験による差が支援に大きく出ている。このような経験からの情報は紙に示しにくい情報であると感じた。 例)岩田君に減らしてといいい続けるソーセージを勧めるとき、「最後にひとつだけ」といって先生はすすめた。
・経験から身につく感覚やVOCAを利用する子どもに対して、臨機応変に対応することが重要だと感じた。子どもに関わるボランティアの人などのなかで臨機応変にしようという気持ちがないと、アクシデントに対してすばやく行動できなくなってしまう。時に危険を招くかもしれないので、支援者の感覚で勝手にルール(偏見?)を作ってはいけないと思った。	
・VOCAというものは知っていても実際に使っている場面を見るのは初めてだったので、緊張した。	
・アンケートの7段階評価は多すぎと思った。選びにくい。	
S <sub>6</sub>	・給食のとき、「うーうー」といっていた理由が、自分のジュースにあったとは気付かなかった。
	・最初にどうしていいかわからなかった。
	・最初、どの子どもも分からずに戸惑った。
	・歯磨きのときに「いやだ」と拒否されたので、その後どう接したらいいか分からなかった。
	・ブランコで遊んだとき押していたけれど、いつまで押し続けるのか分からなくて困った。結局ずっと押し続けていたが...
	・自分の持ってきているお茶がなくなってもまだ欲しいと言われたとき、どうしたらいいか困った。
	・歯磨きのとき、「お願いします」と言われたが、歯磨きを岩田君が手に持ったままでどうしたらいいか分からなかった。
	・お箸でつまんで食べるように支援するとき、口頭で言っても見本を見せても伝わらなかったこと。
	・支援は大変だった。
	・パンの食べ方やエプロンの洗濯などの、情報がなかったことについて、そういうこともあるだろうと思って、情報が足りないとは思わなかった。なくても、子ども本人が自分で出来ることだったり、先生に聞いたらすぐに出来ることだったから。
	・ボールの投げあいをして遊んでいるとき、楽しそうによかった。
	・ほとんど支援が必要なかったのも、また4回目で少し慣れたのもあって特に困ったことはなかった。
	・給食食べるのに時間がかかっていたので、自分のせいかと思って不安になったが、困ったというわけではない。
	・子どもが一人でするところと支援が必要なところと、どのくらい接すればいいのかわかった。
・支援中、先生にいろいろと指摘されて、迷惑をかけてしまったかもしれない。	
・先生に「今日は遅いよ」と言われているのを聞いて、支援者が関わっていたために遅くなってしまったのかと心配になった。	
	・給食の時、あまり支援が必要ではなさそうだったので、自分のすべきことが分からず、困った。
	・昼休み、一緒に遊んだほうがよいのか、一人で遊ぶのを見ているだけでよいのか分からなかった。
	・昼休み、関わり方が分からず、結局一人であそんでいたのも、どうしたらよいか分からず困った。
	・食器を持っての食べ方が分からなかった。
	・食事中、直接手で食べてしまう場面があったが、実際にどう支援したらいいかわからなかった。
	・昼休みに、一緒に遊ぶにはどうしたらよいか分からず、困った。

<報告3> 自閉症や知的障害のある子どもへの e-pp システム導入実験

S <sub>7</sub>	・何をしたいのか、全然分からなかった。
	・食事の場面で何度も「ごま塩」を要求されて困った。
	・食事は自分でできると思っていたが、何度も促して少しずつ食べていく状態だった。途中無理に食べさせているのではないかと不安になった。
	・遊びの場面では、どのように遊ばばいいのか、何が楽しいのか分からなかった。
	・上着を脱ごうとしたときや、靴を履き替えずに出て行ってしまったとき、学校の中でいいことなのか悪いことなのか判断できずに困った。
	・遊びのとき、何をしたら楽しいのかよく分からなくて、追いかけるばかりになってしまった
	・食事でも食べることを促すだけになってしまった。
	・子どもが走り回れるように追いかけるようにしたが、先生のように遊びを作り上げるのは、なかなかできない。
	・食事の場面では、あまり支援することはなかった。食べる順番などは何か考えたほうがいいかもしれない。
	・危険な場面は特になかった。 ↑食器を返しに行くとき、外に出て行ったが…と質問すると、特に危険だとは感じない。
	・休み時間、土遊びをしていたがあれはどう思うか…という質問に対して、特に注意すべきことではないと思ったので、そのまま見ていた。
	・今日はよく見えましたねという話に対して…紙は、困ったときにすぐ見えるのでよかった。
	・昼休みに、他の人のVOCAを押すように促したことにに対して、他の人がそれを使って伝えているのを見て、冲さんも使ってもいいと思った。
	・先生が支援の見本を見せてくれると、安心してその後支援につけた。
	S <sub>8</sub>
・遊びの誘い方がどの程度やっていいものか分からなかった。	
・「本当は自転車に乗りたい」と言う気持ちを先生のように気付くことができなかった。	
・子どもの役割分担や給食時の手順などが分からなかった。	
・次にどういう声かけが必要なのか戸惑うことがあった。	
・トイレには一緒に入ってもいいのか、戸惑った。	
・トイレトペーパーを取るときに助けができなかったので、心配。	
・歯磨きのとき歯ブラシを噛んでしまって、なかなか先に進まなくて困った。	
・何をしたいか悩んだ。	
・冲さんにも、「お箸は？」と聞くことができた。(冲さんが机に用意するのを忘れていたため)	
・今日は危険な場所というのは特になかった。おきなかった。	
・VOCAの使い方がわからなくて、一瞬混乱した。	
・支援の情報を忘れてしまっていることがあったので、もっと覚えておければうまくできたと思う。	
・分からないときはすぐに先生に質問すればよかった。	

<報告4>

## 当事者情報の電子化に対する 養護学校教師の態度に関する調査

坂井聡\*1

### 1 目的

障害が重度になればなるほど、適切なコミュニケーション方法を選択し、その人の意思をスムーズに引き出すためには、多くの時間を割かなくてはならない。しかし、このようにして、多くの時間を割いて確立された、重度の障害のある人との間のコミュニケーションが、職員の配置の異動などで、一からやり直すことになってしまうことがあったり、親子の間に確立されているコミュニケーションが、他の人との間ではうまく使えなかったりする現実がある。重度の障害のある人の円滑なコミュニケーション環境を維持していくためには、支援者がもっている情報を周囲の人と共有できなければならない。支援者が代わっても重度の障害のあるその人の情報を引き継ぐことができれば、今ある環境を維持することが可能になり、それは、重度の障害のある人の生活の質を高めることにつながると考えられるからである。

情報を共有するための方法として、施設では個人記録、養護学校では個別の指導記録など、今までは紙をベースにしたものが使われてきている。しかし、紙の場合は次に示すような限界がある。

・紙の場合は、紛失したり、机の上におかれたままになっていたりすると、プライバ

シーがもれてしまう。

・紙に書かれた文章の場合、支援者によって、その情報の受け取り方が様々になってしまっており、適切な支援につながらない場合がある。

・文章では表現できない、分かりにくい情報も多い。

近年のIT(情報技術)の飛躍的な発達は、音声等を利用して説明しにくいような情報も容易に補うことを可能にしてきた。言葉ではうまく説明することができない場合には、映像を使って伝えたり、インターネットに接続して情報を提供したりするといったことが、簡単にできるようになってきている。画像を用いた情報伝達手段として巖淵・中邑・Alm・Burgstahler(2004)は、携帯電話を利用したコミュニケーション支援システム(electronic personal profiler:以下、e-ppシステムと呼ぶ)を開発している。しかし、こういったIT機器の福祉や教育現場への導入には得体の無い不安を感じる人が多いのも事実である。そこで、ここでは、e-PPを運用するに考えていかなければならない個人情報の問題など、利用する側が持つ不安等を明らかにした。

### 2 方法

研究協力者:知的障害養護学校の教員6名(男性3名、女性3名)。年齢は30代から40代であり、いずれの教員も携帯電話を

\*1:香川大学教育学部附属養護学校

利用していた。日頃から携帯電話でインターネットにアクセスして情報を得ている人は1名であり、パソコンを使ってインターネットから情報を得ている人は6名であった。障害のある子どもの指導経験は、5年未満が1名、5～10年未満が1名、10年以上が4名であった。

手続き：研究協力者に対し、e-PPを用いた障害当事者の個人情報電子化と支援方法に関する講習会を実施し、教師のe-PPに対する態度を調査紙及びインタビューにより聞き取った。約3時間の講習会では、e-PPを用いた生徒のプロフィールの作成方法と閲覧方法が説明された。講習会終了後、聞き取りが行なわれた。調査紙の項目はTable 1に示した。

Table 1 講習会後の聞き取り項目

- 
- (1)性別
  - (2)年齢
  - (3)障害のある人への指導経験年数
  - (4)今後のe-PPシステムについての継続利用についてどう思うか
  - (5)引き続いて使いたいと思う理由
  - (6)どのような項目が入っていたらよいと思うか
  - (7)e-PPが役立つと思われる場面
  - (8)e-PP利用する場合の困難・問題点
  - (9)e-PPの改善点
  - (10)プライバシーの保護を考えると、どのような情報が保護されるべきなのか
- 

### 3 結果

6人の回答は資料1のとおりである。質問項目(5)～(9)間での項目については、内容ごとに関連するものを集めてグループにし

た。グループを作る際には、養護学校で10年以上の指導経験のある教師、障害のある人へのボランティアの経験のある社会人、障害のある人には接したことない学生の協力を得て、各意見をカードにし、類似した項目ごとにまとまりを作るという方法で整理した。

(5)～(9)までの項目の整理結果については、以下のFigure 1からFigure 4の示すとおりである。